

子ども「裾野のモノ・コト」探検隊が地域の魅力探し！

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業

子ども「裾野のモノ・コト」探検隊に12人の小・中学生が参加し、1月から計4回活動しました。3グループに分かれてワークショップを行い、実際に市内を巡り、地域の方々を取材しました。

3月13日(日)に市役所地下多目的ホールで発表会を開催。“裾野の魅力”としてまとめたものを発表し、情報発信しました。

企画政策課
☎995-1804



あるもの探し・あるもの磨き

子ども「裾野のモノ・コト」探検隊は、市内外での裾野ファンの拡大をねらいとする、当市の「あるもの探し・磨き」を行う取り組みです。子ども世代を対象に、地域の魅力探しや、地域の大人との交流を通して、地元への愛着を深めます。

3グループで取材！ 発見した魅力を発表

1月から12人の小・中学生が取材や調査を行った結果を3月13日(日)に市役所地下多目的ホールで発表しました。市長をはじめ、取材を受けた地域の方々や参加者の保護者・同級生などが発表を聴きました。

会場には、今までの活動資料の展示や取材先の商品の試食が行われ、子どもたちの探検の経過を目で見て、舌でも味わえるおもてなしをしました。

発表内容

Aグループ

「一言では表現できない!! 裾野」

取材先／不二聖心女子学院、西島冷蔵庫、下和田水沢、

不二家富士裾野工場、富士の里洋菓子店

不二聖心女子学院では、全国で唯一紅茶“ただにしき”のまとまった栽培をしていること、西島冷蔵庫では、ドラマや映画の雪山のシーンが撮影されたことを知りました。不二家のミルクレープやホームパイは富士裾野工場でしか作っていないこと、富士の里には店主こだわりの一品があることなどスイーツや地元の歴史などを調査し、発表しました。

Bグループ

「みんなで咲かそう“ウォータースマイル”」

取材先／べじた館ぶっこ、JA ふれあい市、いちごハウス、みしまや

主に農業について調査しました。べじた館ぶっこでは、豊富な井戸水で作ったホウレンソウやセロリがあること、ふれあい市では野菜を作った方の顔が見えるため、安心して買えることが分かりました。また、おいしいいちごを作る農家に注目しながら、高齢化による農業従事者の減少についてまとめました。みしまやでは、地元のものを使って作られた豊富な種類の飲み物が販売されていることを紹介。当市が水に恵まれていることを伝えました。

Cグループ

「愛 Love シティーすその」

取材先／富士サファリパーク、フルヤトモヒロさん、高村市長、忠ちゃん牧場

地域で頑張る“人”に着目して発表しました。富士サファリパークでは、獣医の仕事やサファリパークが裾野にある理由を知りました。裾野出身のアーティストのフルヤトモヒロさんが語る裾野の魅力や、裾野愛なら誰にも負けない市長を紹介しました。忠ちゃん牧場では、どぶろくの醸造について学び、挑戦することの大切さを発表しました。

子どもたちが発見した魅力 市内外で活用

子ども「裾野のモノ・コト」探検隊は、今年度も継続して、子どもの目線で裾野の魅力を発掘し、あるもの磨きで当市をアピールしていきます。

